

貯法 室温保存、気密容器

犬糸状虫症予防・消化管内線虫駆除剤
要指示医薬品 指定医薬品

イベルガード[®] Pチュアブル 34

イベルガード[®] Pチュアブル 68

イベルガード[®] Pチュアブル 136

イベルガード[®] Pチュアブル 272

品名	承認指令書番号	販売開始
イベルガードP チュアブル 34	29動薬第2784号	2019年1月
イベルガードP チュアブル 68	29動薬第2785号	2019年1月
イベルガードP チュアブル 136	29動薬第2918号	2019年1月
イベルガードP チュアブル 272	29動薬第2919号	2019年1月

【本質の説明又は製造方法】

イベルガードPチュアブルは、嗜好性の高いチュアブル製剤の犬糸状虫症予防・消化管内線虫駆除剤です。

【成分及び分量】

本品1錠中

品名	有効成分	含量
イベルガードP チュアブル34	イベルメクチン ピランテルパモ酸塩	34 µg 81mg
イベルガードP チュアブル68	イベルメクチン ピランテルパモ酸塩	68 µg 163mg
イベルガードP チュアブル136	イベルメクチン ピランテルパモ酸塩	136 µg 326mg
イベルガードP チュアブル272	イベルメクチン ピランテルパモ酸塩	272 µg 652mg

【効能又は効果】

犬・犬糸状虫の寄生予防、犬回虫及び犬鉤虫の駆除

【用法及び用量】

イベルガードPチュアブル34

体重1 kg当たりイベルメクチン6 µg、ピランテルパモ酸塩14.4 mgを基準量として、体重5.6 kg以下の犬に本剤を1個摂取させる。本剤は犬糸状虫感染開始後1ヵ月から感染終了後1ヵ月までの期間、毎月1回、1ヵ月間隔で摂取させる。

イベルガードPチュアブル68

体重1 kg当たりイベルメクチン6 µg、ピランテルパモ酸塩14.4 mgを基準量として、体重5.6 kgを超える犬から11.3 kg以下の犬に本剤を1個摂取させる。本剤は犬糸状虫感染開始後1ヵ月から感染終了後1ヵ月までの期間、毎月1回、1ヵ月間隔で摂取させる。

イベルガードPチュアブル136

体重1 kg当たりイベルメクチン6 µg、ピランテルパモ酸塩14.4 mgを基準量として、体重11.3 kgを超える犬から22.6 kg以下の犬に本剤を1個摂取させる。本剤は犬糸状虫感染開始後1ヵ月から感染終了後1ヵ月までの期間、毎月1回、1ヵ月間隔で摂取させる。

イベルガードPチュアブル272

体重1 kg当たりイベルメクチン6 µg、ピランテルパモ酸塩14.4 mgを基準量として、体重22.6 kgを超える犬から45.3 kg以下の犬に本剤を1個摂取させる。本剤は犬糸状虫感染開始後1ヵ月から感染終了後1ヵ月までの期間、毎月1回、1ヵ月間隔で摂取させる。

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

(犬に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・本剤は犬によく噛ませるようにして与えること。普段から食物を噛まずに飲み込む傾向のある犬には、本剤を細かく割ってその全てを与えること。

(専門的事項)

①対象動物の使用制限等

- ・本剤の投与前には健康状態について検査し、異常のある犬には投与しないこと。
- ・本剤は離乳前の子犬には投与しないこと。
- ・コリー犬及びその系統の犬種に対し、イベルメクチンが神経毒性を示すおそれがあるという報告があることから、コリー犬及びその系統の犬種に投与する際は慎重投与すること。

②重要な基本的注意

- ・本剤の投与前には犬糸状虫感染の有無を集虫法、抗原検査法等により検査し、犬糸状虫感染犬に投与する場合は、成虫及びミクロフィラリアを駆除するなど適切な処置を行い、投与の可否を慎重に判断すること。
- ・過剰投与にならないように、本剤の投与前には体重を測定すること。
- ・本剤は犬糸状虫成虫には効果がないため、成虫駆除を目的として使用しないこと。

③相互作用

- ・本剤を他の犬糸状虫症予防薬あるいは犬回虫、犬鉤虫駆虫薬と併用しないこと。

④副作用

- ・本剤の投与により、食欲不振、嘔吐、下痢(軟便)、元気消失、歩様異常、痙攣及び流涎がみられることがある。
- ・本剤を犬糸状虫感染犬に投与することにより、急性犬糸状虫症(大静脈症候群)、食欲不振、嘔吐、下痢(軟便)、元気消失、歩様異常、痙攣、流涎及び皮膚アレルギー症状(発赤、そう痒)がみられることがある。

【薬理学的情報等】

(薬効薬理)

- ・イベルメクチンは、広域スペクトル抗寄生虫薬であるアベルメクチン群に含まれ、独特な作用機序を持っている。イベルメクチンは、無脊椎動物の神経・筋細胞に存在するグルタミン酸作動性Cl⁻チャンネル

ネルに選択的かつ高い親和性を持って結合する。これにより、Cl⁻に対する細胞膜の透過性が上昇して神経又は筋細胞の過分極が生じ、その結果、寄生虫が麻痺を起こし、死に至る。イベルメクチンは、特に、神経伝達物質であるγ-アミノ酪酸 (GABA) によって活性化される他のリガンド作動性Cl⁻チャンネルとも弱いながらも相互作用するものと思われる。

・ピランテルパモ酸塩は、イヌ回虫あるいはイヌ鉤虫による感染動物 (イヌ) 及びネズミ蟻虫による感染動物 (マウス) のいずれに対しても、1回投与により優れた駆虫効果を示している。本剤の駆虫効果は、虫体の神経-筋伝達を遮断して運動麻痺を起こすことによるものと考えられている。

【包装】

イベルガードPチュアブル34	80錠 (8錠×10シート)
イベルガードPチュアブル68	80錠 (8錠×10シート)
イベルガードPチュアブル136	40錠 (8錠×5シート)
イベルガードPチュアブル272	40錠 (8錠×5シート)

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術
〒102-0073 東京都千代田区九段北一丁目11番5号
TEL 03-3264-7556

製造販売業者

 **共立製薬株式会社**
東京都千代田区九段南 1-5-10

®登録商標

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

IGA02-NI1901